

〈広報紙部門（市部）〉

特選

「広報おおぶ」2023年12月号 大府市

◇ 審査講評
《和審査員》

特集内容は、地域の先生方との対話を通じ、教育の変化についてやわらかく伝えることに成功しています。レイアウトに関しては、情報の優先順位を明確に整理し、紙面の強弱が巧みに表現されています。縦書きと横書きが混在しているため、グリッドを整理することでより読みやすくなると考えられます。使用している書体の種類が多いため、目指したいイメージに合わせて厳選すると更に洗練されるでしょう。

《田中審査員》

教育現場の「今」を伝える特集は、読みやすく、商業誌でも通用しそうなデザイン性の高さです。対談形式で分かりやすく読ませたり、写真をフル活用したビジュアル性の高いページを織り交ぜたりと、他を圧倒する出来の良さでした。特集以外では、主要施策の紹介に小さな写真をあしらうことで、読者の目を引き付けようとする工夫もレベルが高いと感じました。大府市なら災害対策をどう特集するのか。是非挑戦してください。



〈広報紙部門（町村部）〉

特 選

「広報ひがしうら」2023年10月1日号 東浦町

◇ 審査講評

《和審査員》

特集のテーマ設定が、「見過ごされてしまいがちだが、確かに支えが必要な事柄」に焦点を当てていることを高く評価します。広報紙が一方的に情報を並べるのではなく、住民が紹介する語り口で表現することで、そっと背中を押すような優しさを感じられます。紙面は明るい印象ですが、表紙からは少しネガティブなイメージを受けました。はじめの一步で扉を開けるというコンセプトは理解できますが、ビジュアルのインパクトも重要視すると良いでしょう。

《田中審査員》

「ヨリドコロ」という掘みどころのない特集テーマ。社会問題となっている「孤立」を防ぐための記事がぎっしりと詰まっています。シンプルな導入ページから、町民を取材したこっとり感のあるページへ急展開し、一気に読ませます。統一デザインを用いつつ、情報量の密度が異なる紙面を構成した技術はかなり高いと思います。「ヨリドコロ」の町民が登場しますが、一人称の文体で親近感を感じさせる手法も見事です。



〈広報写真部門（一枚写真）〉

特 選

「広報にしお」2023年4月号 1ページ 西尾市



◇ 審査講評《鮫島審査員》

地元の伝統的な祭り「鳥羽の火祭り」を撮影しました。燃えさかる火をものともせず、勇猛果敢に飛び込む姿を絶妙なタイミングで撮影しました。炎の勢いの迫力に加え、写真右側から周囲で撮影していたカメラマンのフラッシュの光が当たり、普通なら炎の明るさに埋もれてしまう人物がきれいに浮かび上がっています。立体的で迫力ある祭りの豪快さが伝わる写真になりました。

〈広報写真部門（組み写真）〉

特 選

「広報がまごおり」2023年9月号 表紙・裏表紙 蒲郡市



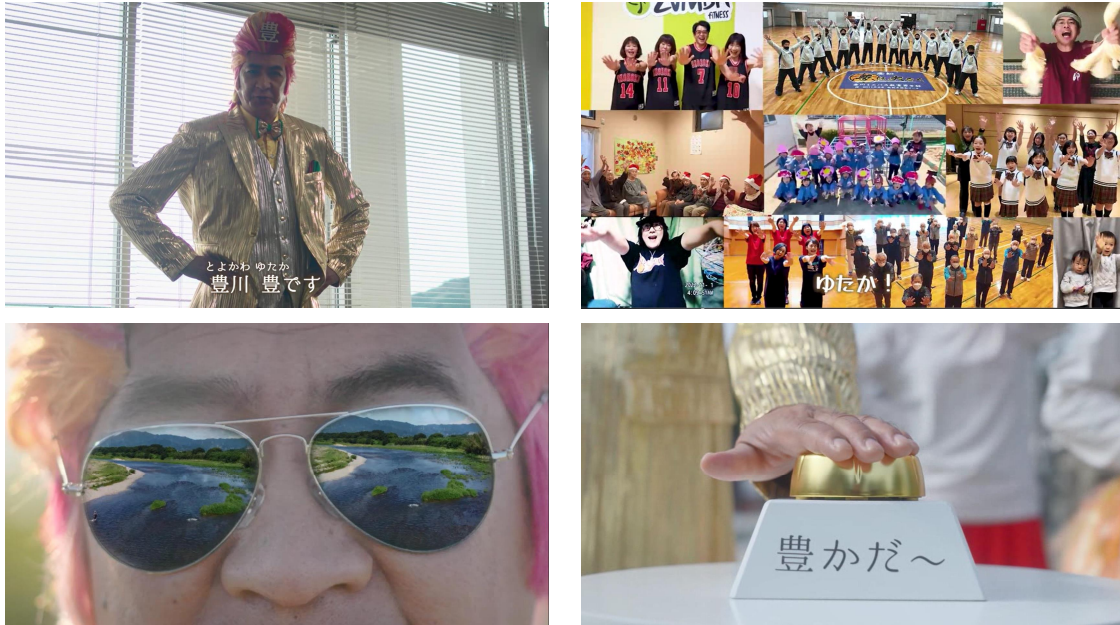
◇ 審査講評《鮫島審査員》

蒲郡一のお祭り、「蒲郡まつり」での写真を表紙と裏表紙を使って組み写真にしました。祭りのハイライト、納涼花火大会の花火の写真をメインに、よさこいやダンスで盛り上がる表情豊かな参加者を配しました。花火の華やかさと祭りに参加する人たちの躍動が効果的に表現され、祭り全体の様子がよく分かる組み写真になりました。



特 選

「豊川市制 80 周年記念ソング『豊川、豊か』ミュージックビデオ」 豊川市
(<https://www.youtube.com/watch?v=Ieq72zCKy08>)



◇ 審査講評《柴山審査員》

この作品は、令和 5 年 6 月に市制施行 80 周年を迎えた豊川市の記念ソングのミュージックビデオです。まず、まとめるとこうなります。「演歌歌手の山川豊^{やまかわゆたか}さんが、豊川豊^{とよかわゆたか}に改名して豊川市の豊かさを市民といっしょに歌うミュージックビデオ」です。なぜまとめる必要があったのかというと、この映像を見て「豊川豊とは?」「あのかつらと衣装は?」「“豊かだ〜!” と鳴るあのボタンは?」など、なぜ?何?と疑問ばかりが出てくるのではないかと思ったからです。実はこの作品の前に、山川豊さんに豊川豊へ改名をお願いするプロローグ編を始め、七つの短編映像でかつらや衣装などの理由が明らかにされているのです。その集大成といえるのがこの作品ですが、疑問を抱きながらもこの映像を見れば「とよ・かわ、豊川、豊か!」の言葉が印象に残ってしまうのです。

市制施行を記念する企画といえはいわゆる真面目な企画が定番でしたが、ここ数年はバリエーションが増えています。中でもこの作品は、行政として「振り切った感」が強く、思わず凄いなと声が出てしまうほどです。共演している市民の皆さんの笑顔が印象的なのはもちろん、豊かな自然を表現するのに、「豊川豊さん」がかけるサングラスに流れる川を写す細かな演出、また最後に謎のボタンを押して「豊かだ〜!」と締める演出など何度も見返したくなるのが不思議です。運動会や盆踊りで活用されるなど広がりを見せているとのことで、豊川市の皆さんもこの映像を思い浮かべているのではないのでしょうか。これは企画の力だと思います。まさに自由な発想が「豊かだ〜!」と感心しました。